

皆さんの悩み、お聞きします

ケアラーの窓から Vol.7

ダブルケアの存在

「ダブルケア」という言葉を聞いたことがありますか？
子育てだけでも大変な中、パートナーや親など他の家族の介護もしている方がいます。気づかぬうちに疲れた心と身体をひと休みさせて、子どもを遊ばせながら、日頃の悩みやちょっと気になることを話してみませんか？

町子育て世代包括支援センター（町子育て支援センター「スキップ」内）でいつでもお待ちしております。

【相談窓口】 町福祉課、町社会福祉協議会

【相談ダイヤル】 ※①～③の窓口は平日 8:30～17:15 です。

①子どもの相談 町子育て支援センター「スキップ」 ☎ 72-1280

②高齢者の相談 町地域包括支援センター ☎ 73-2255

③障がいの相談 町福祉課福祉・子育てグループ ☎ 73-2222

④ケアラーの相談 町社会福祉協議会（専用ダイヤル）
☎ 72-2121（月・水・金/午前）



町子育て世代包括支援センター
まつだ もゆみ 保健師
松田 茂弓



← ケアラーの
最新情報はこちら

栗山学び隊

Vol.25

介護福祉学校と栗山高校に通う皆さんの様子をお届けします

喜びを感じながら学びを深める日々

なかばやし まさと
中林 聖翔さん（北海道介護福祉学校 1 年）

今金町出身。檜山
北高校を卒業後、今
年 4 月より栗山町で
の生活がスタートし
ました。
友人から「自身の
優しさ」について褒
められる事が多く、
自身の性格を活かせ
る仕事として、介護
に魅力を感じたとい
う中林さん。
高校時代と環境は
大きく変わったもの
の「毎日がとても新

鮮で、好きな分野を
勉強できることに喜
びを感じています」
と語ります。
今後も 1 年次の介
護施設実習など学び
の日々は続きます。
「新たな仲間や憧れ
の先輩、個性豊かな
先生方との出会いに
感謝し、将来につな
がる学びを深めて行
きたいです」と笑顔
で話していました。



No.71

新しい力で栗山町を元気に！

地域おこし協力隊です



観光交流マーケター
うの 純一 隊員
じゅんいち



← 協力隊の活動は
Facebook で発信中！

栗山町産苺ジェラートの製造体験会を試験開催

こんにちは、観光交流マーケターの宇野です。任期 2 年
目である今年度は「①私が進めているジェラート事業の推進」
「②栗山町の観光推進に向けた、具体的取り組みの試験運用」
をメインに活動していきます。

早速ですが先日、ジェラートと栗山観光を組み合わせた
「ジェラート製造体験会」を試験開催しました。札幌よりモニ
ター参加者 5 名を招待し、栗山町産苺を使用した、苺シャー
ベットと、苺ミルクジェラートの製造を体験してもらいま
した。新鮮で真っ赤な栗山産苺に参加者の満足度は高く、ま
た、貴重な意見もいただけて、大変充実した会となりました。

今後は、今回いただいた意見も参考に、収穫と料理作りを
組み合わせた体験プログラムの試験実施してい
きたいと考えています。ぜひご注目いただけると嬉
しいです！

ジェラート製造体験会
当日の様子▶



連合チームとしての栗山高校野球部

つしま 対馬 さわき 澤木 まつお 松尾	ゆうと 優斗 せな 星那 ひろと 弘人	さん (2 年)	いながき 稲垣 いしかわ 石川 なす 那須	せら 星輝 とわ 翔羽 りんか 凛花	さん (2 年)
	さん (2 年)		さん (2 年)	さん (1 年)	

野球部は現在、夕
張・深川東・月形高
との連合チームとし
て活動しています。
春の大会は初戦
敗退。部員全員が「悔
しかった」と振り返
ります。主将の対馬
さんは「敗退後、こ
れまで以上に『質』を
意識して練習するよ
うになった。限られ
た練習時間の中で全
員が声出しを意識
し、コミュニケーション
を大切に活動

していきます」と力強
く話してくれました。
マネージャーの那須
さんは「チームワーク
が良い部活」と語るよ
うに互いのフォローな
ど練習でも仲の良さが
伺えます。
ひたむきに活動に取
り組む野球部。顧問の
清水瑛樹教諭は「連合
チームの形でも野球が
できることへの感謝を
忘れずに頑張つてほ
しい」とエールを送り
ました。